

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	テレポート岡山		所在地	岡山市北区大内田675		
敷地面積	3,702.04 m ²		棟数	2 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	5,322.05 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	県内の情報拠点施設として、県内中小企業の情報化の促進を図る。					
【想定される自然災害】						
予想震度 5強～6弱 津波 — 浸水 —						
建築規制	市街化区域 準工業地域 建ぺい率70%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (A重油)		
	1,942,052 kWh	— m ³	1,613 m ³	1,180 0		
管理上の 特記事項	敷地内未利用地なし 情報通信関連企業等への賃貸を行っている。					

1. 施設内建物の概況

名称	テレポート岡山					
築年(西暦)	1991年					
構造	鉄骨鉄筋 造 地上6階 コンクリート 地下1階					
建築面積	814.26 m ²					
延床面積	5,277.95 m ²					
主要な用途 (室名等)	貸室35室 1,964m ² 管理者用・倉庫等 1,193m ²					
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 中央監視制御装置 給排水設備 消火設備 昇降機					
利用状況	高					
耐震性 ※1	有					
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—				
	中性化 ※3	—				
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適				
	地盤沈下 ※5	適				
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし					

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、施設を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
テレポート岡山	・設備等の修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を順次行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
テレポート岡山	設備等の大規模改修		設計	受変電設備・直流電源装置・蓄電池更新2							
	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)			設計	屋上防水・外壁タイル等補修	外壁シーリング	自動火災報知設備更新			屋内消火栓更新	
				5Fエアコン・全熱交換器更新	5F・6Fエアコン・全熱交換器更新		給排水ポンプ更新				
							消火ポンプ更新				
						エレベーター更新					
							ゴンドラ修繕				

4. 概算費用

総額5億円(設備更新等)